

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	同一敷地内にある特養ホームとグループホームが地域住民や行政も含めて「同じもの」として認識されている(昔で言えば養老院的なイメージ)認知症の人の理解、支えがあれば、地域で暮らし続けられるということが理解されていない	認知症介護・介護技術など介護にまつわる相談窓口となることで、地域貢献をおこない、結果地域と繋がりながら暮らし続けられる環境を作る	・日常的な外出(買い物、老人会座談会など)を行うことで、事業所の存在や活動を見てもらう ・運営推進会議の委員に地域の商店主、学校の先生など、固定しない委員の枠を作り、情報を発信する。	12ヶ月
2				・滞っている広報を計画通り、年2回発行を行う	ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。